

歩道及び自転車歩行者道に関する
調査表記入マニュアル

〔C080〕 歩道自歩道

この調査表は、歩道及び自転車歩行者道における歩道種別、形式毎の歩道等延長、幅員別延長、切下げ箇所数、点字ブロック等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 都道府県市区町村毎とする。 注)
- 路線毎とする。
- 上下線毎とする。
- 路線分割区間毎とする。
- 沿道状況区分毎とする。
- 歩道等種別毎とする。
- 歩道形式毎とする。

注1) 市区町村の境界が不明確な場合や市区町村境と管轄境界が一致しない場合には、担当部署や関連する事務所及び出張所間で協議してデータを作成すること。

注2) 交差点・バス停等については無視して作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 市区町村C : ◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード: 08401
(検査数字は含まない)

(R) 検査数字 : ◆

上記の市区町村に対し、「全国市町村要覧」を参照し、コード末尾の□内の数字を記入する。

(S) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(T) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(X) 沿道状況区分C : ◆

沿道状況について、該当するコードを記入する。なお、沿道状況の取り扱いは交通センサスの作成要領による。

区 分	コード
市 街 地	1
平 地	2
山 地	3
D I D地域	4

(Z) 歩道等種別C : ◆

歩道等種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
歩 道	1
歩道+自転車道	2
自転車歩行者道	3
歩道等(分離)	4

注)

- 注) ・歩道、歩道+自転車道、自転車歩行者道とは、車道部に併設されたものをいう。
- ・歩道+自転車道とは、歩道と自転車が段差等により構造的に区画されて設けられたものをいう。なお、路面にマーキングして歩行者と自転車を区分しているものについては、自転車歩行者道とすること。
 - ・歩道等(分離)とは、道路法48条の7により自転車専用道路等として指定された道路の部分または構造的に車道と分離しているものとし、一般的には人家等の障害物により、車道部から離れて設けられたものをいう。なお、同法に基づき、自転車専用道路等として指定された道路(それ自体で独立の路線を有するもの)は、独立専用歩道として計上すること。

(AB) 形式C : ◆

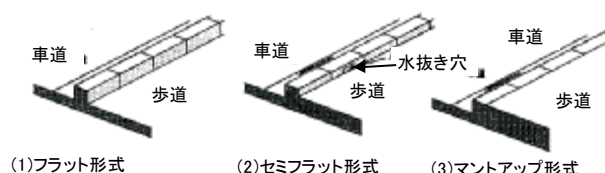
歩道の形式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
マウントアップ	1 1	橋梁添架(コンクリート)	1 4
フラット(縁石)	1 2	〃(鋼製)	1 5
〃(防護柵)	1 3	セミフラット	1 6
		そ の 他	9 9

注)

注) 橋梁の現状幅員内に設置した場合は、マウントアップまたはフラットのどちらかで分類する。橋梁添架とは現状の橋梁に歩道を添架したものと単独橋(橋側歩道橋)のものとする。(出典:直轄指定区間現況調査提要)

○歩道等の形式(車道に対する高さ5cmのセミフラット形式を原則とする)



(AD) 百米標自 (km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編) §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(AE) 距離自 (m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編) §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(AF) 百米標至 (km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作

成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(AG) 距離至 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(AJ) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\begin{array}{c} \underline{361} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (3:昭和)} \end{array}$

(AK) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\begin{array}{c} \underline{405} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (4:平成)} \end{array}$

(AL) 上り下り区分C : ◆

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(AN) 設置区分C : ◆

設置区分について、該当するコードを記入する。

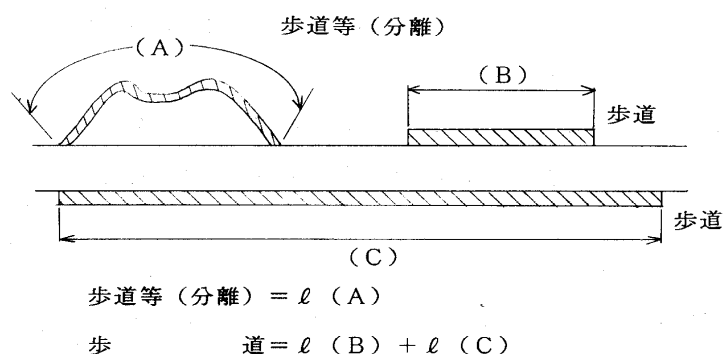
区 分	コード	区 分	コード
一 般 部	1 1	洞 門	1 6
橋 梁 部	1 2	スノーシェッド	1 7
高 架 橋	1 3	スノーシェルター	1 8
トンネル	1 4	そ の 他	9 9
道路BOX	1 5		

(AP) 歩道等延長 (m) : ◆

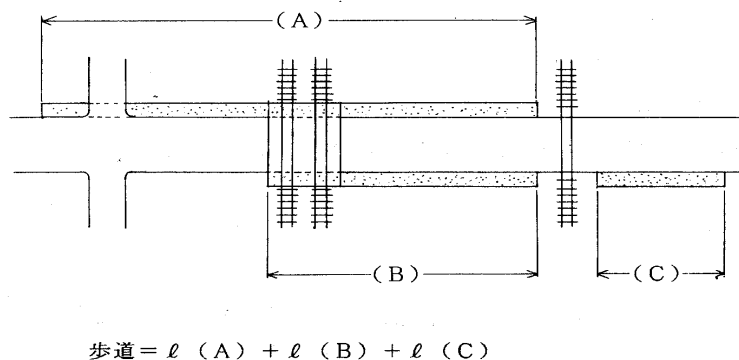
路線の実延長区間における歩道等設置区間について、前項 (AL) 上り・下り区分を上・下線一体とした場合、歩道等部分の中心線上の延長を、左右合計したのべ延長で記入する。

(出典：道路施設現況調査提要)

- ① 交差点の前後に歩道が設置されている場合には、交差点に歩道が設置されているものとして、その延長を加える。
- ② 交差点の前後に歩道が設置されていない場合および前後どちらか一方に設置されている場合の交差点の延長は、歩道延長に加えない。



- ③ 踏切の前後に歩道が設置されている場合は、交差点と同様、踏切に歩道が設置されているものとしてその延長を加える。ただし、踏切に歩道幅員が確保されている場合に限る。



(AQ) 雪寒地域歩道延長 (m) : ◆

該当する区間が雪寒地域内の場合、その歩道延長 (のべ延長) を記入する。該当しない場合は ‘*’ を記入する。

(AR) 積雪地域歩道延長 (m) : ◆

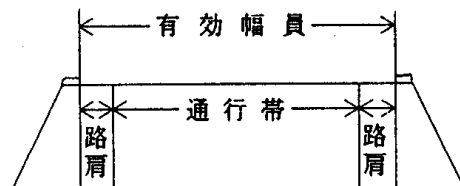
該当する区間が積雪地域内の場合、その歩道延長 (のべ延長) を記入する。該当しない場合は ‘*’ を記入する。

(AS) 総幅員 (m) : ◆

該当する区間の植樹帯等を含んだ総幅員 (平均値) を、小数点以下2位まで記入する。

(AT) 有効幅員 (m) : ◆

該当する区間の平均有効幅員を、小数点以下2位まで記入する。



(AU) 幅員4M以上延長 (m) : ◆

(AV) 幅員3M以上延長 (m) : ◆

(AW) 幅員2M以上延長 (m) : ◆

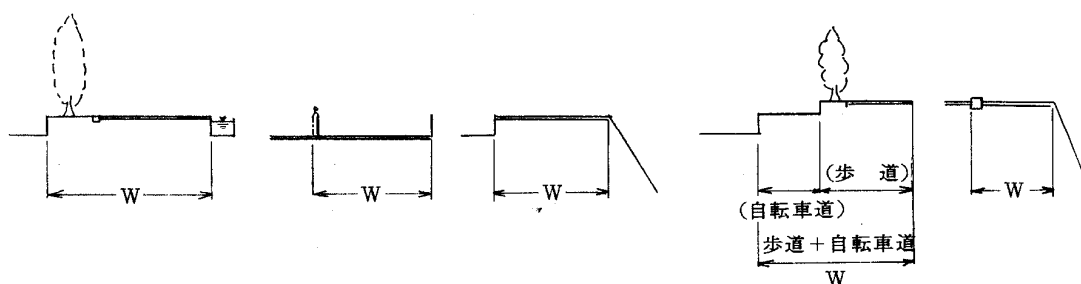
(AX) 幅員1M50以上延長 (m) : ◆

(AY) 幅員1M以上延長 (m) : ◆

(AZ) 幅員1M未満延長 (m) : ◆

上記 (AU) ~ (AZ) については、歩道等の幅員別に対する歩道等延長を記入する。なお、歩道等延長の取り扱いは記入事項 (AP) 歩道等延長を参照のこと。

歩道等幅員 (W) には植樹施設部分も含めるものとする。



(BA) 列状 (m) : ◆

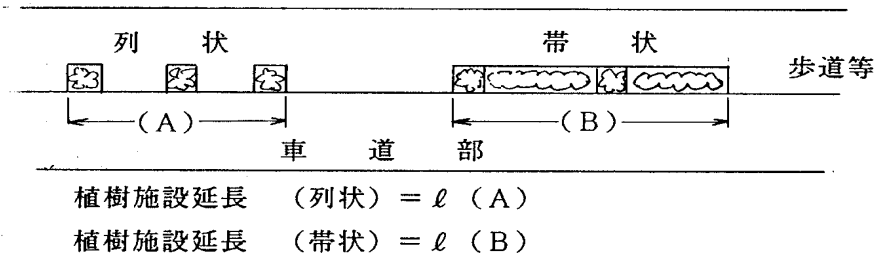
(BB) 帯状 (m) : ◆

上記 (BA)、(BB) については、該当する区間における実延長区間内の植樹施設設置区間の列状、帯状について、歩道等部分の中心線上の延長 (のべ延長) を記入する。

植樹施設とは、街路樹 (高木)、中木、低木および芝等の植栽をいう。なお、移動が可能なポット等で植栽してあるものは植樹施設には含めない。また、列状とは、列状に植栽してあるもの

をいい、带状とは、連続に植栽（植樹帯形式）してあるものをいう。

当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。



(BC) 交差点部切下げ箇所数：◆

該当する区間における交差点部分の歩道等切り下げ箇所数（のべ箇所数）を記入する。注)

当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

(BD) その他切下げ箇所数：◆

上記以外の切り下げ箇所数（のべ箇所数）を記入する。注)

当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

注) 道路法24条による乗り入れ箇所の切下げ部は対象外とする。

(BE) 乗入れ箇所数

該当する区間における歩道等への乗入れ箇所数（のべ箇所数）を記入する。なお、対象とする

乗入れ箇所数は道路法24条によるものとする。当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

(BF) 点字ブロック枚数：◆

該当する区間における点字ブロックの設置枚数（のべ枚数）を記入する。当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

(BG) 点字ブロック箇所数：◆

該当する区間における点字ブロックの設置箇所数（のべ箇所数）を記入する。当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

(BH) 点字ブロックのべ延長 (m)：◆

該当する区間における点字ブロックの設置延長（のべ延長）を記入する。なお、交差点、横断歩道の前、地下道の出入口に設置している停止用の小規模な点字ブロックは延長には含めない。

当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

(BI) 屋根箇所数：◆

該当する区間における屋根の設置箇所数（のべ箇所数）を記入する。なお、ここで取扱う屋根とはカンギ・アーケード等で屋根のあるものも含む。

当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

(BJ) 屋根延長 (m) : ◆

該当する区間における屋根が設置されている延長（のべ延長）を記入する。

当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

(BK) 屋根占用別C : ◆

屋根の占用別について、該当するコードを記入する。

当該区間で該当しない場合は「*」を記入する。

区 分	コード
占 用	1
自 管 理	2

(BM) 歩道設置年月

歩道が設置された年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） 1985年12月 ——> 198512

(BN) 舗装済延長 (m) : ◆

歩道及び自転車歩行者道の舗装されている区間の延長を記入する。

(BO) 未舗装延長 (m) : ◆

歩道及び自転車歩行者道の舗装がされていない区間の延長を記入する。

(BP) 舗装種別C

舗装がされている場合その種別について、該当するコードで記入する。なお、該当区分に種別が複数ある場合は代表的なもので記入する。

区 分	コード	区 分	コード
未 舗 装	1	インターロッキング系	6
コンクリート系	2	透水性As系	7
アスファルト系	3	排水性As系	8
平板ブロック系	4	そ の 他	9
Asブロック系	5		

注)

注) Asはアスファルトを言う。

(BR) カラー舗装有無C：◆

該当する区間のカラー舗装の有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
カラー舗装 無	0
〃 有	1

(BU) ロードヒート有無C

該当する区間におけるロードヒーティングの有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
無 し	0
有 り	1

(BZ) 消雪パイプ有無C

該当する区間における消雪パイプの有無について、該当するコードを記入する。

(BU) ロードヒート有無Cのコード表と同様。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/2

C080：歩道及び自転車歩行者道

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
市区町村C	半角5文字		○	○
検査数字	半角1文字		○	○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
沿道状況区分C	半角1文字		○	○
歩道等種別C	半角1文字		○	○
形式C	半角2文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
設置区分C	半角2文字		○	○
歩道等延長	9999999	m	○	○
雪寒地域歩道延長	9999999	m	○	○
積雪地域歩道延長	9999999	m	○	○
総幅員	99.99	m	○	○
有効幅員	99.99	m	○	○
幅員4M以上延長	99999	m	○	○
幅員3M以上延長	99999	m	○	○
幅員2M以上延長	99999	m	○	○
幅員1M50以上延長	99999	m	○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

2/2

C080：歩道及び自転車歩行者道

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
幅員 1 M以上延長	99999	m	○	○
幅員 1 M未満延長	99999	m	○	○
列状	99999	m	○	○
帯状	99999	m	○	○
交差点部切下げ箇所数	999		○	○
その他切下げ箇所数	999		○	○
乗入れ箇所数	999			○
点字ブロック枚数	99999		○	○
点字ブロック箇所数	999		○	○
点字ブロックのべ延長	999999	m	○	○
屋根箇所数	999		○	○
屋根延長	99999	m	○	○
屋根占用別C	半角1文字		○	○
歩道設置年月	199901	西暦		○
舗装済延長	999999	m	○	○
未舗装延長	999999	m	○	○
舗装種別C	半角1文字			○
カラー舗装有無C	半角1文字		○	○
ロードヒート有無C	半角1文字			○
消雪パイプ有無C	半角1文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照